

## スポーツ健康政策学部・スポーツ科学研究科紀要 (桐蔭スポーツ科学) 創刊によせて

スポーツ科学研究科長 星 秋夫

スポーツ健康政策学部は、体育・スポーツ科学に依拠しながらも工学、政治学、文化学などの学問分野とクロスした総合科学であるとする設置理念の基、2008年に設置され10年が経過しました。そして、スポーツ科学研究科は、学部で目指しているスポーツ健康政策学の基礎分野であるスポーツ科学について、高度の専門知識・技能を学び、社会の発展に貢献できる人材の育成を目指して2015年に設置され今日に至っています。したがって、本学のスポーツ健康政策学部・スポーツ科学研究科の教員構成は他大学のスポーツ系学部と比べ多彩な分野の教員で構成されています。このことから、それぞれの分野における独自の研究活動が期待されます。

本学においては、これまで定期物を刊行して来ましたが、さらなる内容の充実を図るため、さらには、スポーツ健康政策学部・スポーツ科学研究科の教員の教育・研究成果の質の向上につなげるため研究紀要(桐蔭スポーツ科学)を発行することになりました。

スポーツ健康政策学部設置10年という説目の年に研究紀要を創刊することができたことは灌漑深いものがあります。本誌が、若手教員にとって論文の書き方を訓練する場所、論文掲載の喜びを知る最初のステップとなることを願ってやみません。さらに、本誌が広く世に迎えられ、新しい社会の創造に多少なりとも寄与できますよう、今後スポーツ健康政策学部・スポーツ科学研究科の力を結集して本学ならではのユニークな研究発信ができる紀要に育てていくことを夢見て、学問の垣根が取り払われた研究の場として数多くの研究者に活用していただきますよう、祈念する次第です。